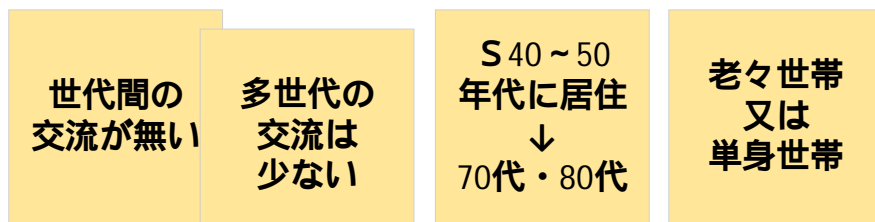


グループ

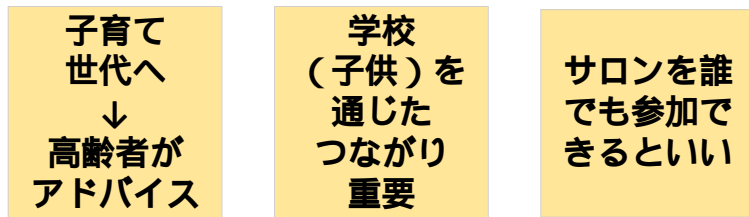
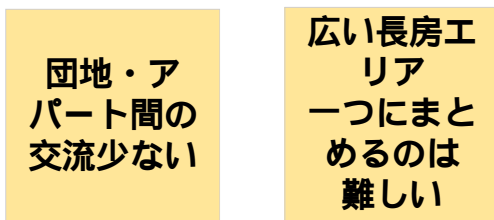
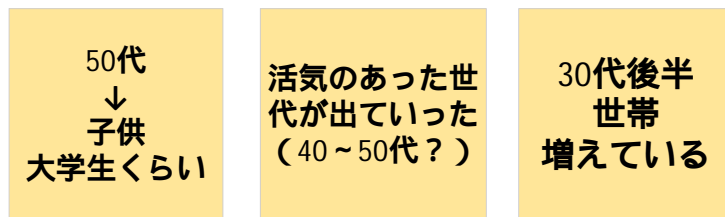
ワーク(1) 地域の将来ビジョンを検討しよう

多世代交流

最も大切にしたいキーワード



後継者が減ってきている中でなんとか交流できないか



幸福度

趣味を持つ

健康である

心が幸福であること

生活利便性

長房地域は広いので地域全体で考えていく必要がある

利便性高くなった

移動スーパー

新しい商店遠い人も多い

利便性は高いが高齢者使いづらい

安心・安全 / 防災

災害危険地域

高齢者多い

高齢者道路横切る人
多い

長房中学校区地域づくりワークショップ【地域の将来ビジョン】検討結果

グループ

ワーク(1) 地域の将来ビジョンを検討しよう

最も大切にしたいキーワード

生活利便性

買い物

コピーを
活用できる

移動販売

小さな店

住みやすい

移動販売
↓
交流の場

巡回バス

長房地域は広いので、いくつかのエリアに分けて考えるといいのではないか

つながり・多世代交流

市内で高齢化が一番進んでいるため、
高齢化対策、多世代がつながることが必要

多世代

若い世代の
参加

(法政)
大学生

人材

PTAが終わった以降も引き続き地域に
関わるといい

場所・資源の整備など

空き地

空き家

雪かき

草木の管理

長房中学校区地域づくりワークショップ【地域の将来ビジョン】検討結果

グループ

ワーク(1) 地域の将来ビジョンを検討しよう

最も大切にしたいキーワード

教育・子ども視点

モデル地区として長房が選ばれた理由
学校再編や高齢化

目の前の高齢化課題よりも未来の子どもを意識する

今後の地域を担う子どもや地域の拠点である学校・教育を意識して将来ビジョンを考える

長房の現状や今後のプランを見据えたビジョン設定

高齢化率が高い現状

学校再編の話を共有

長房中学校区の地域づくりにおいて、現在動いている計画やプランを共有し、今後地域がどのように変化していくかを見据えることで持続的な地域づくりができる

交流・つながり

近所とのつながり

声かけ

記憶に残る(帰属意識)

あいさつが自然にできる関係性

栄商店通りのあたたかみがある!

子どもころに地域のあたたかさやつながりを感じると大人になっても記憶に残り自然と帰属意識につながる

教育・子ども視点での多世代交流

学校を起点とし、地域で教えられた人が教える立場になる循環が続いていくと良い

地域の循環

地域ぐるみで子どもたちを育てる

学運協などで学校に関わっている方は長房で育ち、長房に貢献したいという方が多い。昔から、大人が学校に関わるような地域性がある

長房では学運協と学校の連携が強い

運営協議会の組織がしっかりしている!

長房中学校区地域づくりワークショップ【地域の将来ビジョン】検討結果

グループ

ワーク(1) 地域の将来ビジョンを検討しよう

情報発信

情報発信

イベントにしる、歴史探訪にしる、情報発信が欲しいです

地域の中でイベントなどがあっても、その情報が伝わってこない

助け合える = 情報を共有できる

最も大切にしたい
キーワード

安心・安全

安心・安全なまちである為には、助け合えるまちであることが大切
日常的に交流し、知り合ってる状態

安心・安全

助け合える
町づくり

子ども視点

- ・子ども会のない地域の子が参加できるイベントや場が必要
- ・様々な計画が大人中心で子どもの視点を反映して作られていない
- ・子ども会に関わる世代が地域の中で活躍するようにしたい

幸福度が高い

ここに住みたい！
と思えるまちづくり

幸福度が高い

子ども視点

若者が住みたい

- ・学生の頃に住んだり関わったりした結果、社会人になったらまた住みたいと思ってもらえるまちにする

ex) 例として創価大学の学生が長房への恩返しとして引き続き地域に関わってる

学生

まちに恩返し
したい

若者が住みたい街
→治安、子ども、利便、イベント、自然
メリット
→住む機会 = 知る機会
→50・40になった時に定住

多世代交流

子ども視点
多世代交流
(各種)

交流の機会をつくる

長房は市内で人口が一番多い
高齢者の割合が高く
世代間の交流が重要である

地名、番地区分の
明確化
活動者若返り
(世代交代)

長房の住所は
「長房〇〇〇〇」など
番地区分がされず
位置を把握しづらい

活気のある

それぞれのキーワードが
「活気のある」という
キーワードを内包したり
収斂されていくとよい

活気のある

長房中学校区地域づくりワークショップ【地域の将来ビジョン】検討結果

グループ

ワーク(1) 地域の将来ビジョンを検討しよう

最も大切にしたいキーワード

伝える・情報共有

町会などの地域活動が地域に共有されていない

学校の使用等地域内に共有されていない

地図に地域を落としても良いのではないか

若い人が団地に住んだ時、長く居続けることができない

広報活動を全面にして伝えていく

回覧板では情報共有ができなくなっている。SNSの活用が必要では

みんなで・つながり

月に1回サロンをやっているが高齢化が進んでいる

色々な人に参加してほしい
30人→8人に減ってしまった

サロンの活動の担い手不足によりやれないことが多くなってきている

地域の運動会をやってみたい!

集える場休める場が欲しい

高齢者の孤立化を防ぎたい

一人で過ごす時間を有意義に!

共通しているのは、伝えること、情報発信が不足している

自然

陵南公園
南浅川
いちちょう祭りが自慢

多文化・多世代

若い人を取り込んで、人数が増えていけば続けられる。

外国籍が1人親世帯が増えている

世代を越えたつながり